

“自分を守ること…”

皆さんは、目の前に大きな石があったらどうしますか？ケガ（失敗）を恐れずに飛び越えることにチャレンジしますか？誰かがその石を違う場所へ移動するまでそこで待ちますか？それとも、もう無理、嫌だと言って引き返しますか？

今の公園の滑り台には、滑り降りたところに大きなゴムのマットが敷かれています。公園によっては、階段の方にも敷かれています。自分の子供の頃にはゴムのマットなどはなく、土が削られてコンクリートが露出しているところがありました。そのコンクリートで足や手を擦りむいて痛い思いをしたことも少なくなかったように思います。ケガするたびに親からは「もっと周りを見なさい」と痛い思いをしたのに怒られていました。友達が飛び降りたブランコが当たり眉の近くを切ったときも「ブランコの後ろに立っているのが悪い、もっと周りを見なさい」とやはり怒られました。（今はブランコの後ろには入れないようになっています）何回か痛い思いをしていくうちに少しずつ周りを見て、気を付けるようになり、ケガをすることも少なくなりました。また、ケガをしても痛みに慣れたのか、「これぐらいなら大きなケガにならないから大丈夫」とか「これは大けがしそうだからやめておこう」と判断することもできるようになっていました。最近では、ほとんど公園の『うんてい（雲梯）』や『回転ジャングルジム』が姿を消しているそうです。いずれも子供の大きな事故があったので撤去されたみたいです。自分の子供の頃は、少しスリルのある遊具が好きでした。なので、今の公園を見るとケガをしないように安全でいいなと思う部分と、スリルを感じる遊具がなくなって寂しいなと思う部分があります。

誰でも新しいことや今までより難しいことにチャレンジするのには勇気がいります。失敗をすると、体や心（気持ち）がケガをして痛めることもあります。しかし、チャレンジしないと、例え、上手くいった時でも、「ここは危なかった、次はもう少しこの点を注意しよう」とか、「ここをもう少し違う方法でやればもっとスムーズにできたはずだ」などに気付くことや「もう少し難しいこともできるかも」などさらに上を目指す意欲も持てません。また、失敗したときは、「なぜ上手くいかなかったのか」や「何が足りなかったのか」、「何を用意しておけばよかったのか」などを考える機会となり、それが、次のチャレンジの時に自分自身を守る武器となります。いつまでも他人に石を移動してもらうのを待っていたり、あきらめて引き返しては、自分で自分を守れなくなってしまいます。皆さんには少々のことではへこたれない人になってほしいと思っています。頼みますよ。期待しています。

【交通安全について】

2023年に千葉県で自転車事故によって亡くなった方は17人でした。

頭部を損傷した11人のうち10人がヘルメットをかぶっていなかったそうです。

春は、交通事故が多い季節です。十分気を付けましょう。